	中川連合町内会広報誌	発行日 2021年 7月 1日
	発行者 中川連合町内会広報委員会	第8号
	発行責任者 小泉正彦	特集：自治会町内会紹介 PART 3

コロナ禍での地域活動を模索して

中川地区の連合町内会活動は、令和2年年明けより新型コロナウイルスの感染拡大によって身動きが取れない状態に陥っています。書面による会議の開催など、コロナ禍の影響は地区内18の自治会町内会が競って開催する納涼盆踊りや夏まつり、29回目を迎えた岡津小PTAふれあい夏まつり、中川地区センターの30周年記念行事、脱温暖化の運動を標榜する神明台のつどい・見学会などすべての行事の中止を余儀なくされました。

地域とのつながりを保持する意味から密を避け、間隔を保ち、密閉なしで、集まれる場所がないと集えない、地域活動ができない。

意見交換、意思疎通ができないなど、コロナ感染症対策と地域活動をどう両立させるのか、それを解決するための手段として、昨年秋から地域活動のリモート化に取り組み、半年以上たった今では、参加者の約半数がリモートにて会議に出席しています。

いま、リモートを活用した積極的な意見交換をすすめ、社会情勢の変化にいち早く対応する事業活動や、イベントでの交流を模索し、状況を踏まえた地域交流の拡大を図っていくことが求められています。

岡津小学校創立100周年

令和3年10月20日横浜市立岡津小学校が100周年を迎える。大正10年に阿久和、岡津、共進の3つの小学校が統合して中川村立中川尋常小学校になった。江戸時代代官所の跡地だと言われるこの地に新校舎の落成を待って、その年の10月20日が創立記念日になっている。

大正、昭和、平成、令和の100年の年月が過ぎ多くの卒業生が地域に巣立っていった。今年10月30日に100周年のお祝いが行なわれる。



▲深川区長（最下段中央）も区役所庁舎からリモートで参加

▶会場ではタブレットでリモート参加者にも聞こえるよう活動報告



<提供：タウンニュース社 2021年1月28日号より>

緊急に取り組む課題

2020年より新型コロナウイルス感染症の影響で社会が新しい生活様式に変わりました。地域での活動だけでなく、働き方、生活スタイル、家族との関わりなど形を変えたことで、その影響は私たちの生活に切実に現れています。

自粛生活は、高齢者の認知機能低下や体力低下などの健康被害を生み、また家庭によっては仕事や経済的な困窮の悩みを抱えて苦しんでいます。

成長期における子どもたちの心の問題が起きているのも深刻です。

中川地域でも、私たちができる範囲での見守り活動等が必要ではないでしょうか。また適度な運動を進める声掛けも欠かせないようです。つながりを切らず、いっときでも支援をしていける態勢づくりが必要です。地域での活動は、地道なことの積み重ねですが、私たちの命や生活を守るために是非、地域の皆様のご支援、ご協力をお願いします。

（会長：小泉正彦）

岡津第三町内会

安心、安全、そして綺麗な町創り

《役員体制》



※()は人員数

町内会の諸活動は、実働部門である10事業部及び本部スタッフなど42名の役員と班長が協力して進めています。

※欠員
 青少年指導員
 消費生活推進員

《岡津第三町内会の概要》

岡津第三町内会は、阿久和川に架かる「西田橋」から下流の「堂の前橋」までの間の南側に位置しています。平成2年4月、旧岡津町内会の分割と同時に発足、今年で設立31年になります。本年3月末現在の規模は、総戸数467戸、会員世帯373世帯、加入率80%となっています。班長の任期は1年、事業部関連の役員任期は2年です。

◆意思決定や役員班長相互の情報交換

毎年4月の定期総会・月1回の月次定例会・不定期の事業部長会議等

◆会員への情報発信

回覧・ホームページ・広報紙等 (随時)



《町内会の具体的活動について》

①町内の安全、安心、綺麗を守る活動

防犯パトロール・自主防災訓練・廃棄物の管理・公園清掃
 行政・地域からの情報伝達・地区の交通安全活動・防災訓練への参加協力

②住民相互の関係性を深める活動

夏祭り・餅つき大会・新年会・高齢者への支援活動・子ども会活動
 連合の運動会・祭りなどへの参加、協力



令和2年、コロナ禍により夏祭りなどのイベントは全て中止としました。しかし、そうした状況下でも、年間251日の防犯パトロールをはじめ、水辺愛護会活動、自主防災訓練、高齢者へのご長寿プレゼント、防災備品拡充等が実施できました。令和3年、コロナ禍の先行きは不透明ですが、「安全、安心、そして綺麗な町創り」を支えるベーシックな活動だけは、継続して行きたいと考えています。

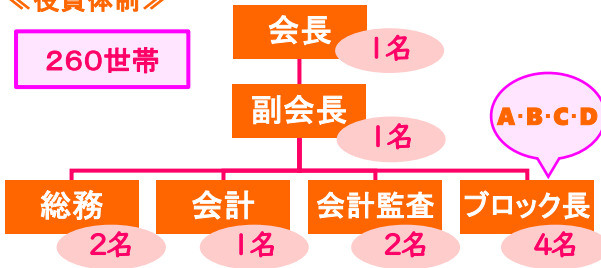
《組織が抱えている課題》

最大の課題は役員不足です。今後も継続する長期的な課題と思われます。昭和から平成にかけて作られてきた現在の町内会の活動内容や組織、システムなどを根本的に見直す時期に来ている事だけは確かなように思います。

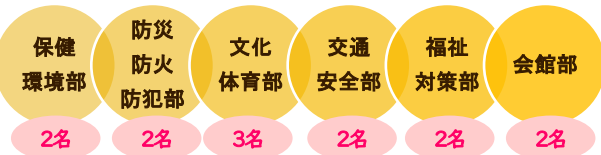
岡津新町町内会

人を愛し緑をいっくしみ より快適な環境づくりを行い、住みやすい町をつくる

《役員体制》



◆専門役員



◆特別役員



《町内会の特徴》

現在、町内会加入率は、ほぼ100%と非常にまとまりの良い町内会です。町内会館、公園を拠点にした多数のサークル活動が活発で、特に「懇親の会」(老人クラブ連合会)は、昨年全老連の表彰を受ける栄誉に浴しました。



《活動状況》

月1回の定例役員会に於いて、町内の行事・課題について協議し、また、行政・中川連合との連携なども確認します。令和2年度はコロナ禍により行事は全て中止となりましたが、夏祭り・敬老会の代わりに「お買い物券」を配布しました。また、町内会現況表の作成、町内会規約改訂、防犯パトロール強化デー制度の新設などに取り組みました。

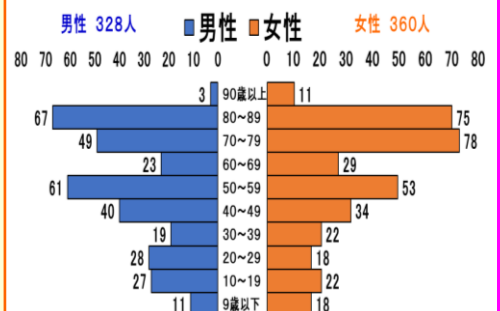
お買い物券

《今後の課題》

高齢化による役員制度の問題、世代間交流の促進などです。

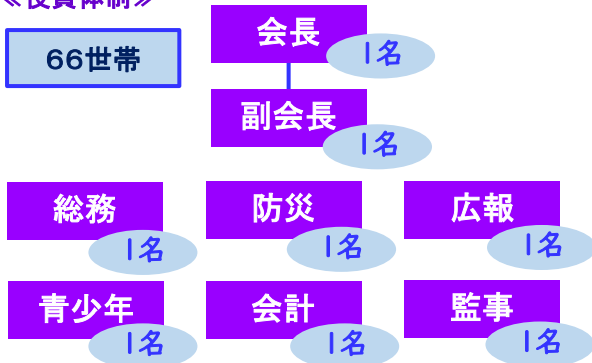
町内会人数 688人
 75歳以上(後期高齢者) 228人(総人数の33%)
 65歳以上(高齢者) 309人(総人数の45%)
 中学生 14人
 小学生 25人
 世帯数 260世帯(4施設を除く)
 平均家族人数 2.65人
 (但し複数世帯の同居も1家族とみなす)

岡津新町町内会 現況分布グラフ



グリーンハム弥生台B地区自治会

《役員体制》



30年程前に自治会が発足し、現在66世帯程の小自治会です。役員は8名体制。任期は1年で運営しております。

《活動方針》

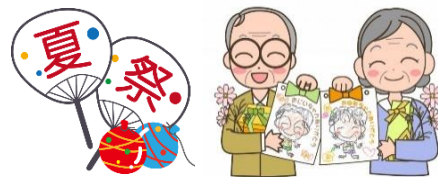
- ◆ 毎月1回の定例会実施
- ◆ 自治会員への奉仕
- ◆ 広報(月1回発行)
- ◆ 安全・安心の確保及び継続



安心・安全の確保及び継続

《イベント》

- ① 夏祭り
- ② 敬老者への贈答品配布
- ③ もちつき大会
- ④ ウォーキング(毎月1回)



おもちつき

令和2年度は、コロナ禍の中、
②敬老者への贈答品配布
③もちつき大会(切りもち全世帯配布)
④ウォーキング
を実施しました。

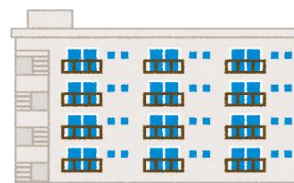


《課題》

組織としての課題は、高齢者が多い点と更に役員の成り手がなかなか無く、自治会発足時から輪番制で1年交代の任務となっています。

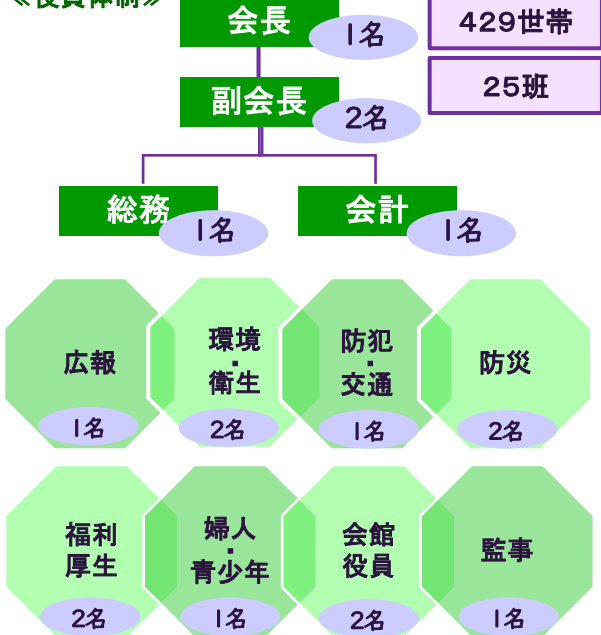
又、管理組合の役員も同じで小自治会のため、両方の役員担当が3~4年毎に回ってくる事も住民の負担感が重いようです。

管理組合の役員を2~3名増として、自治会を吸収統合したり、各組織の業務量を減量できないのか等の意見もあります。



西が岡第三自治会

《役員体制》



《特徴》

静かな環境のもと、自治会も脈々と続いてきていますが、役員立候補がある年、くじ会長が率いる年、とさまざま、誰が役員になっても存続していけるように、「できる人が、できるときに、できることを」をモットーに任務の簡素化を目指しています。

《例年実施のイベント》

防災・防犯と親睦行事の2つが軸ですが、コロナ禍で防災と防犯へとウエイトが移りつつあります。

- ◇ 定期総会(4月)
- ◇ 理事会と班長会毎月(8月を除く)
- ◇ 公園・遊歩道・自治会館の清掃毎月(交替制、4月・8月・2月を除く)
- ◇ 夏祭り(7月)
- ◇ ラジオ体操(8月)
- ◇ 敬老会(9月)
- ◇ 防災訓練(11月)
- ◇ 防犯パトロール(8月・12月)



《課題》

◆ 高齢化による班長のなり手不足で班長の順番回りが早い。また、役員との両立の難しさや非会員でも困らないというような考え方などから退会も増えている。

◆ コロナ禍での定例会開催の仕方や回覧板敬遠時の対処法を模索中。

◆ 夏祭りについては、天候も含め連続で3回中止。規模を縮小? 全く違うことをする? などどのような形式で復活・開催できるのかは未知名。



《活動方針》

会員相互の親睦をはかり、生活環境を良好に保ち、また向上させることによって、より良い地域社会を作り上げることを目的とする。

桂坂自治会

さらに、安心安全で住みやすい街づくり

《役員体制》



令和2年に自治会創立25周年を迎えました。

《スローガン実現のための取り組み》

- ① 「一人でも多くの人との挨拶を」の運動の推進
- ② 他人に優しい風土づくりの継続
- ③ 自治会活動を通しての「知り合う機会」や「親睦の輪」の拡大
- ④ お年寄りへの支えあいや子どもたちを見守る活動の推進
- ⑤ ホームページの開設、情報の提供



《定例的活動》

役員会(月1回)、役員・班長会(月1回)

《年間イベント》

- ① 定期総会(4月)
- ② 桂坂公園の除草活動(5月・10月)
- ③ 夕涼みの集い(7月)
- ④ 敬老の日の祝い品贈呈(9月)
- ⑤ 消火器の詰め替え(11月)
- ⑥ 中川ふれあい祭り出店(11月)
- ⑦ 焼き芋・豚汁の会(11月)
- ⑧ 西が岡小学校防災訓練参加(11月)
- ⑨ 防犯パトロール(10月～12月)

※ 令和2年度は、③⑥⑦⑧はコロナ感染拡大防止のため、中止
※ ①は、コロナ禍で総会実施できない場合、書面表決で実施



《成果》

◆地域の除草活動への参加人数が増加



《課題》

◆自治会役員の高齢化、および担い手の不足

◆継続の意思がない限り、役員は年度ごとに改選される。

主体的な役員の成り手がない。

◆ホームページを開設したが、個人情報をごくまで掲載するのかの検討

【防災委員会の動き】

中川地区防災委員会は中川連合町内会の18自治会・町内会の防災担当者からなる組織です。

中川地区の防災対策は、災害を最小限に抑えるために、お互い顔のわかる自助・共助ができる地域づくりを目的とし、年に2、3回の防災委員会を開催しています。

また中川ふれあい祭り等では、防災コーナーを設



け自助の啓蒙と災害対策品の展示などを行っています。防災委員会の会議では、各自治会・町内会の防災訓練の状況や意見交換を行い、各地域の問題点などを洗い出し、また他地区との情報共有を図ります。

阪神・淡路大震災の災害時、倒壊家屋等から救出された方のうち、約8割の人が家族また近隣の住民によって救出されたと言われています。大規模災害時には、県や市といった行政の人的および物的資源には限界があるため、近所また地域の助け合いが重要です。防災委員は自身の防災力向上を図り、各町内会・自治会の防災訓練と安否確認訓練を実施し、各地区の防災の行動指針作成に協力しています。

<防災委員長 酒井浩一郎>

＜編集後記＞

新型コロナウイルスが国内各地で猛威を振るい、地域で集う各種行事、イベントは軒並み中止に追い込まれております。中川連合町内会は、先人諸氏が長年の努力により育んできた「強い絆で豊かな街づくり」に新たな活動計画を模索し怠りなく取り組んでいきます。

<広報委員会 市原泰夫>

中川連合町内会 小泉 正彦

横浜市泉区岡津町2085 TEL/FAX 045-812-1957

中川連合町内会メールアドレス : nakagawa_rengou@yahoo.co.jp